

# 世界の未来と日本の役割

キーワード 地球温暖化、環境問題、国際連合、持続可能な社会、SDGs

## エネルギー教育の視点（目標）

この単元では、グローバル化する世界の日本の役割について学習する。また、持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな取り組みがあることを理解し、これからの日本や自分たちができる取り組みを考えさせる。

## 単元の流れ（6時間）

1. 世界にはさまざまな課題があることに関心を持ち、その解決に向けた学習問題を考え、表現する。（1時間）
2. 国際連合の特色や各国連機関の取り組み、日本の人々の活動を調べることを通して、国際連合がおこなっていることや日本の人々の活躍を理解する。（1時間）

3. 持続可能な社会の意味やSDGsなどの取り組みを調べることを通して、世界や日本には現地の人々と協力して環境保全に努める多くの人々がいることを理解する。（1時間・本時）

## 【目標】

持続可能な社会の意味やSDGsなどの取り組みを知ることを通して、世界や日本には環境保全に努める多くの人々がいることを理解する。

4. 青年海外協力隊やNGOで活躍する人たちの話や資料から、日本の国際協力のおよびについて理解する。（1時間）
5. 調べたことを基に学習問題について話し合い、国際社会での日本の役割について考えたことを意見文に書く。（1時間）
6. 国際社会における課題について考え、課題解決していくために、自分たちに協力できることは何か追求しようとする。（1時間）

## 参考情報

英国グラスゴーにて、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が、2021年10月31日～11月13日に行われた。その中で、産業革命前からの気温上昇幅を1.5℃に抑えるという目標に向かって世界が努力することが、この場で正式に合意された。

## 板書例

持続可能な社会の実現に向けて、日本や世界ではどのような取り組みをおこなっているか考えよう。

◎地球温暖化→わたしたちが毎日使っているエネルギーが影響  
地球全体の平均気温が上がる・世界中の環境や暮らしに影響→  
気候変動・海面の上昇・異常気象 など

## ◎持続可能な開発目標（SDGs）

2030年までに達成すべき17の目標

- 日本：二酸化炭素を出さない再生可能エネルギーの活用  
エネルギーを効率的に使う技術を取り入れる取り組み
- 世界：COP21→2020年以降の対策
- 地域や企業でもさまざまな取り組み

## まとめ

地球温暖化を防ぐために、世界の国々やわたしたちの協力が必要である。

	本時の流れ	指導のポイント
導入	1. 地球の環境問題について知る。（10分） ・教科書の写真やP.42～43を見て気付いたことを発表する。 ・持続可能な社会の実現に向けて、日本や世界ではどのような取り組みをおこなっているか考えよう。	1. ・さまざまな環境問題が世界中で起きていることに気づかせる。その原因が地球温暖化であることに触れ、本時のめあてを提示する。
展開	2. 環境問題が地球温暖化の影響を受けていることを知る。（10分） ・P.44～45を読んで、地球温暖化が自分達のエネルギー利用と関係があることを知る。 ・日本や世界ではどのくらいエネルギーを使っているかを知る。	2. ・地球温暖化がどのようにして起きるのか、そのメカニズムを、副教材を使用して知らせる。その際、温暖化の原因である温室効果ガスが自分たちのエネルギー使用によって発生していることに触れる。
	3. 持続可能な社会の実現のための開発目標について知る。（10分） ・国連で立てられた行動計画の中心である「持続可能な開発目標（SDGs）」を知る。	3. ・SDGsについて、教科書で触れる。その際、どのような目標があり、どのようなことをめざしているのかを具体的に示す。特に目標7と目標13はエネルギー問題との関連性が深いので、この2つに着目して授業を展開する。
	4. 日本と世界の取り組みを知る。（10分） ・P.46～47を読んで、日本や世界の温暖化を防ぐ取り組み（「パリ協定」など）を知る。 ・P.58～59を読んで、企業の取り組み（省エネ、国際貢献、製品開発など）を知る。	4. ・地球温暖化を防ぐために、日本や世界ではどのような取り組みをしているのか具体的に知ること、自分にもできることはないか、主体的に考える態度を育てる。
まとめ	5. 学習を振り返る。（5分） ・本時の感想を書き、発表する。	5. ・本時の振り返りを発表させ、本時で学習した感想を共有させる。



**本時の評価：**【知識・技能】持続可能な社会の意味やSDGsなどの取組を知ることを通して、世界や日本には環境保全に努める多くの人々がいることを理解することができる。（発言・ワークシート）